

癌化学療法プロトコール

氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **Cabazitaxel療法**
 対象疾患 去勢抵抗性前立腺癌
 診療科 泌尿器科
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

投与薬剤名	投与量	投与可能量 (mg)	溶解、希釈液	投与方法
プレドニン錠	5mg × 2回/日内服			連日経口投与
day1				
① 生食	250mL			血管確保とフラッシュ
② ポラミン	5mg/1mL (1A)		生食100mL	30分かけて点滴静注
② デキサート	6.6mg/2mL (2A)			
② ファモチジン	20mg /20mL			
③ 生食	50mL			30分かけて点滴静注
④ ジェブタナ	25mg/m ²		生食250mL	60分かけて点滴静注
day2				
① ジーラスタ	3.6mg/0.36mL			皮下注

2 投与方法の図式

時間 (hour)	0.5	1	1.5	2	2.5
① 生食				▶	
② デキサートなど	▶				
③ 生食		▶			
④ ジェブタナ				▶	

3 投与スケジュール

1クール21日。day1にジェブタナ、day2にジーラスタを投与する。プレドニゾロンは連日経口投与。

4 特記事項

- ・ ジェブタナの投与の際は0.22μmのインラインフィルターを使用。
- ・ ジェブタナ点滴開始から約10分間は、点滴速度を少し遅めにして全身状態を観察する。
- ・ ジェブタナを点滴する際は投与速度を補正する。
- ・ ジェブタナはアルコール過敏症患者には慎重投与(アルコール抜きでの調製は不可)。
- ・ 好中球減少のリスクが高いため、day8までに好中球数の測定を行う。
- ・ 発熱性好中球減少症の発症抑制のため、G-CSF製剤(ジーラスタ)を併用する。
- ・ 初回は入院での実施を考慮する。